

月報 やまひ日和 追加号外!

山中町の春祭り「御膳もち」が中止に

5月10日に予定されていた山中町・樹下神社の春祭り「御膳もち」は残念ながら新型コロナウイルスの影響で中止になってしまいました。中止になってしまいました。せつかなので山中町のお祭りについて少しご紹介したいと思います。

1月15日お弓行事

年頭にあたって、その年一年間の災いや煩惱(ぼんのう)を弓で射ることで打ち破るとい願いがこめられています。お弓仲間と呼ばれる次代を担う青年のグループが作られ、そのグループから選ばれた代表が、古いしきたりに従って矢を的にめかけて放ちます。その的の上には、わらで作られた大蛇に見立てた綱がはられており、その後子ども達によってその綱で綱引きが行われます。

昔は村中の人で綱引きを行ったそうです!

この行事に参加する事によって青年が村で一人前と認められ、村の行事や仕事に加わる事ができるとい成人行事であるとともに、村の田畑や山での仕事の安全を、神の化身とされる大蛇に祈るとい目的があります。大津市指定の無形民俗文化財です。『わたしたちの山中比叡平』より抜粋)

2014年撮影／お弓行事



5月第二日曜日 春祭り・御膳もち

昨年度一丁目自治会長の大木文雄さんが一昨年に書かれた文章よりご紹介いたします。

去る5月13日(日)、樹下神社で春祭りの「御膳もち」が行われました。山中町で選ばれた娘さんが、ごちそうを御供台に並べ、それを頭の上のせて山中町通りを、歩いて樹下神社まで運び、それを神様にそなえる行事です。夜のとばりが降り、通りや神社の周辺には大きな提灯が幾つも掛けられ、かがり火も焚かれ、異空間が現出していました。20時からその儀式が始まりました。



昼間は生憎の大雨で、夜の儀式が危ぶまれていましたが、その頃になると不思議に雨も止みました。巫女の衣装をまとった若いお嬢さんが、頭の上に大きな御供台をのせて歩くのは至難の業です。最初はおぼつかなかった足取りも、やがてしつかりとしてきました。写真中央の娘さんがその主人公なのですが、彼女は社殿まで御供台を無事運び終えました。まずはほっとして社務所内で休んでいるところです。その後、社務所内で、神官の方々が祝詞を唱え、お祓いをし、巫女の舞が行われ、氏子一同が、神様をもてなしました。雨が降らなかつたら、外の社殿前の祭場でそれを執り行つはずだったのですが。



若い娘さんの緊張が伝わる 素敵な写真ですね!

御膳もち 写真・文章／大木文雄

山中太鼓も、御膳もちの娘さん一行が、神殿に到着のとき荘厳な響きを打ち鳴らしていました。私の撮った写真はこれだけです。フラッシュを焚く気持ちにはなりませんでした。若い娘さんを大切に見守り、立派に成人してほしいという、山中町住民の熱い心が伝わってきました。山中町には色々な行事が一年を通してあります。比叡平の皆さんも是非それに参加してみませんか。尚、山中町樹下神社の春祭り・御膳もちの様子写真は、ネットでも検索できます。